

平成27年度 第1回アシ☆スタ交流イベント

アシ☆スタ カフェトーク
先輩起業家に聞く！ **楽しい？** **ツライ？** **起業**のホンネ
開 催 報 告

開催日：平成27年10月26日（月）

1.開催概要

1) トークセッション☆ 13:30~14:50

パネラー／先輩起業家

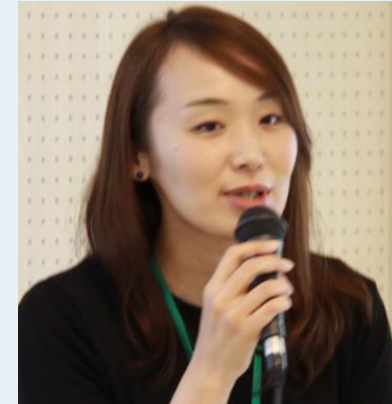
株式会社 空むすび
代表取締役
杉山 健一 氏

パネラー／先輩起業家

**Handmade doughnut
cafe nijineco**
代表
佐々木 まゆみ 氏

コーディネーター

アシ☆スタ
ビジネス開発ディレクター
影山 祥子



2) 交流会☆ 14:50~15:30

会場

(公財) 仙台市産業振興事業団 アシ☆スタ交流サロン (仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階)

参加者

50名 (男性10名 女性40名 /定員40名)

参加費

500円

2. パネラー事業内容



株式会社 空むすび
代表取締役

杉山 健一 氏

設 立	2015年7月
所 在 地	仙台市宮城野区中野字神明51-6
従 業 員	2名 (2015.10現在)
事 業 内 容	建設・土木工事の調査・記録 企業のプロモーション画像の撮影 オペレーターの教育・育成
沿 革	地元水産会社（有）プラネット社長を経て、震災後の2011年9月 餃子とラーメンのお店『一番五郎』をオープン。翌年9月、株式会社食むすびを設立し、現在3店舗を展開。仙台あおば餃子の開発・普及に努める。 30年以上のキャリアを持つラジコン飛行機の技術を活かし、2015年7月、仲間と共にドローンによる空撮事業を 主業とする同社を設立。

2. パネラー事業内容



cafe nijineco
代表

佐々木 まゆみ 氏

- 設 立 | 2014年5月
- 所 在 地 | 仙台市太白区東中田2-29-12
- 事 業 内 容 | ドーナツ&カフェの製造販売
- 沿 革 | 大手ドーナツチェーン店勤務15年以上の
キャリアを経て、2014年5月にドーナツ
カフェ をオープン。「陽だまりでくつろぐ猫のように、ゆったりと過ごせる
空間で、自分が作るドーナツを見たとき、食べたときに、虹を見つけた
時のような笑顔になってほしい」という想いをコンセプトに、メニュー豊
富な手づくりドーナツを提供する。最近では、店内でワークショップ等
開催もコーディネートする。

3.トークセッション&交流会の様子



4. アンケートの集計結果

1. 今回のイベントの感想は？



■ 大変良い ■ 良い

2. 開催の時間帯は？



■ ちょうど良い ■ 別の時間帯がよい

■ 「別の時間帯が良い」と回答した方……

・午前中開催/夕方からの開催が良い

3. 話を聞いてみたい先輩起業家の業種は？



■ 販売 ■ 美容・エステ ■ 飲食 ■ IT ■ ものづくり ■ その他

■ 「その他」と回答した方……

・イベントや講師業
・6次産業化

5. 参加者の声

- ・起業の大変さや面白さを聞いて良かった。
- ・素晴らしい企画だと思った。
- ・起業の様々な話が聴けて楽しかった。
- ・先輩の率直な話を聴けてよかった。
- ・とても貴重な時間をいただいた。有難うございました。
- ・女性がたくさんいてびっくりした。男性は気まずい方もいたのかなと少し心配するほどだった。
- ・先輩起業家2人の話だけでなく、起業を志す人との交流の時間もとても有意義だった。

6. 事務局から

● 全体的な印象

- ・交流サロン初のイベントであるため、集客の状況を懸念したが、定員を上回る50名の参加となった。そのうち女性が8割（託児希望7名）を占め、女性の起業に対する関心の高さと、行動力・積極性がうかがえた。
 - ・トークセッションでは、当初は緊張気味であったパネラーのお二方も、影山BDDの落ち着いたコーディネートですぐに緊張がほぐれたようで、ご自身の体験を交えた貴重なお話を分かりやすくお話しいただいた。また熱心に聴き入る参加者の姿も印象的であった。
 - ・交流会は、初めてとは思えないほど盛況で、事務局の進行を待つまでもなく、参加者相互で活発なやりとりが行なわれた。cafe nijinecoさんのドーナツやコーヒーなどを片手にパネラーを囲んで談笑したり、参加者同士で話に花を咲かせる様子がいたるところで見られ、会場が手狭に感じるほどであった。閉会後も、会員登録を希望する方などでサロン内の賑わいがしばらく続いた。
 - ・アンケートの結果や参加者に直接伺った話から、サロンのPRと「起業家同士の交流」というイベントの目的は、一定程度果たせたものと考えます。
- ### ● 今後の課題
- ・ここからが本当のスタートであり、サロン利用者の定着を図れるよう、発信力を高め、魅力あるイベントを企画していく必要がある。